未来の印刷

小林靖晃

ぼくは、「話した言葉が絵や文字となって、紙に印刷されればいいなと思います。

なぜかというと、例えば、授業中に先生が話したことを文をとびている時、重要なことをメモし忘れをりします。でも、この機械があれば、重要な先生の話しを聞いていればいいので、授業もよりわかりやすくなり、後で印刷されたものを読みかえせば、復習にもなっていいと思ったからです。でも、この機械にも弱点があります。それは、文字を書かないことです。もし、文字を書かなくてすむなら、それはそれでいいんですけど、日本には文字を書く文化があります。なので、文字も書くのが下手になり、文字を書かなくなると、文字を書くことができなくなるので、使い分けのできる機械であってほしいです。

それと、もっとこだわるなら、デザインは、シンプルで、性能、例えば、印刷の早さや画質のきれいさ重視して作ってみたら、消費者的にもうれしいと思います。それも御協力

安くなれば、すべてにおいてパーフェクトだと思います。

これが、ぼくがほしいと思う商品です。